

5 救急概要

増加を続ける救急出動件数や多様化する救急需要に対応するため、救急ワークステーションを軸とした医療機関との緊密な連携や高度な救急隊員の教育体制により、救急業務の高度化に努めています。

(1) 救急救命士の有資格者数

【第74表】救急救命士の資格取得状況

(令和7年4月1日現在)

区 分	救急救命士 有資格者数	気管挿管 認定	薬剤 (アドレナリン) 投与認定	ブドウ糖投与 認定	CPA前 静脈路確保 認定
人 数	180人	105人	171人	161人	161人

(注) 救急救命士有資格者数は、就業前病院実習を修了し、北九州地域救急業務MC協議会の認定を受けた救急救命士の総数である。



(2) 応急手当の普及啓発

【第75表】応急手当普及啓発状況

(令和6年度)

(※スクール救命士のみ)

区 分	平成6年度より										合 計	平成24年度より		
	普 通 救 命 講 習			上 級 救 命 講 習	救急講習	普 及 員 講 習		指 導 員 講 習		ス ク ー ル 救 命 士				
講 習 種 別	I	Ⅱ	Ⅲ					新規	再講習	新規	再講習		小学校	中学校
開 催 回 数	131 (31)	1	11	9	515	4	16	0	3	690	131 (127)	72 (69)	37 (6)	
受 講 者 数	3,335 (590)	7	267	238	24,822	135	323	0	7	29,134	7,446	7,580	534	
合 計 (開催回数)	143			9	515	20		3		690	240			
合 計 (受講者数)	3,609			238	24,822	458		7		29,134	15,560			
延受講者数	386,630			8,848	576,471	10,373		1,167		983,489	205,592			

- (注) 1 普通救命講習()は実技救命講習で内数
 2 スクール救命士()は実施校数
 3 スクール救命士()外の数字は全校数
 4 スクール救命士について、小・中学校は救急講習、高校は普通救命講習Ⅰにそれぞれ含む。